

受検番号	氏名

平成 28 年度

か　な　がわ  
神奈川県立中等教育学校入学者決定検査

# 適性検査 I

## (45分)

### ――注意――

- 「はじめ」の合図があるまで、この検査用紙を開いてはいけません。
- 問題は **問4** まであり、1ページから8ページに印刷されています。
- 問題をよく読んで、答えはすべて **解答用紙** の決められた欄に書きましょう。解答欄の外に書かれていることは採点しません。
- 字数の指定のある問題は、指定された字数や条件を守り、わかりやすく、ていねいな文字で書きましょう。次の〔例〕のように、横書きで、最初のマスから書き始め、段落をかえたり、マスの間をあけたりしないで書きます。文字や数字は1マスに1字ずつ書き、文の終わりには句点〔。〕を書きます。句読点〔。、〕やかっこなども1字に數え、1マスに1字ずつ書きます。

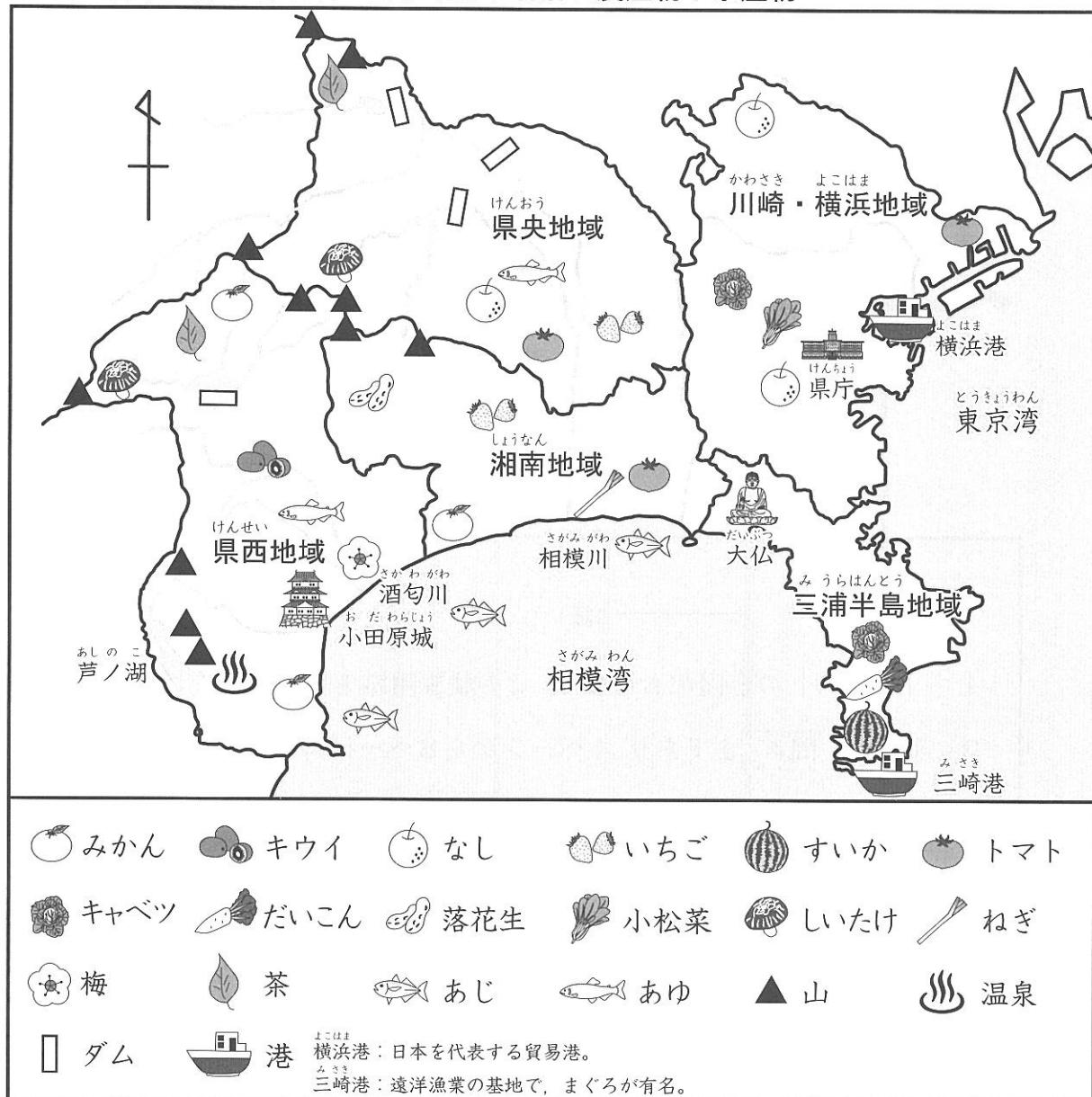
〔例〕

1	2	月	の	詩	の	テ	ー	マ	は
,	「	冬	の	朝	」	だ	つ	た	。

- 「やめ」の合図があったら、途中でも書くのをやめ、筆記用具を机の上に置きましょう。

**問1** あさおさんは、「神奈川県の各地域の特色を調べる」という課題で、『わたしたちの神奈川県』を使って、5つの地域の主な地形や名所と農産物や水産物について【地図】にまとめています。【地図】を見て、あとの（1）、（2）の各問い合わせ答えましょう。

[地図] 神奈川県の各地域の主な地形や名所と農産物や水産物



(『わたしたちの神奈川県 (平成 26 年版)』より作成)

(1) ゆうこさんは、<sup>かわさき</sup><sup>よこはま</sup><sup>しょうなん</sup>川崎・横浜地域、湘南地域、県央地域、県西地域の4つの地域の特色をまとめることにしました。あさおさんがまとめた〔地図〕から読みとれる内容として、それぞれの地域に最もあてはまるものを、次の①～⑧の中から1つずつ選び、その番号を書きましょう。

- ① 南側は海に面していて、東側は山が多い。トマトや小松菜、落花生が生産されている。
- ② 神奈川県の水源となっているダムがある。農産物はしいたけやトマトなど、水産物はあゆがとれる。
- ③ 地域の中心には城があり、まわりはすべて山に囲まれている。梅や茶がさいばいされている。
- ④ 山が北側にあり、名所として大仏がある。キウイやみかんなどの農産物がとれる。
- ⑤ 三方が山に囲まれていて、だいこんなどの農産物や遠洋漁業の基地があり、まぐろが有名である。
- ⑥ 南側は海に面していて、北西に山がある。落花生やトマト、ねぎやいちごなどを生産している。
- ⑦ 東側は海に面していて、日本を代表する貿易港や県庁がある。小松菜やなしなどを生産している。
- ⑧ 南東側は海に面していて、西側に山や湖や温泉がある。みかんやキウイなどを生産している。

(2) ゆうこさんが4つの地域の特色をまとめたように、<sup>みうら</sup>三浦半島地域の特色を〔地図〕から読みとれる地形や名所と、農産物や水産物の具体例をあげながら、36字以上45字以内で書きましょう。

**問2** あかねさんとゆうさんは、折り紙について調べ、学習発表会で作品を展示することにしました。【会話文】を読み、【『オルガン』の折り方】と【図】を見て、あの(1)、(2)の各問い合わせに答えましょう。なお、折り紙は、作る途中で回転させたり、向きを変えたりしないこととします。また、検査用紙、解答用紙等を折り曲げて考えてはいけません。

〔会話文〕

あかね 「折り紙は日本に古くからある伝統的な遊びです。」

ゆうと 「現在でも新しい折り方を研究している人がいて、とても高度な折り方を見たことがあります。」

あかね 「わたしも『オルガン』や『ほかけぶね』など、昔からあるものは知っています。」

ゆうと 「『オルガン』は、よく本にもようかいされていて、わたしも折ることができます。【『オルガン』の折り方】のとおり折っていくと、まず⑦の『家』ができます。ここから『オルガン』など、他の作品へつなげることができます。」

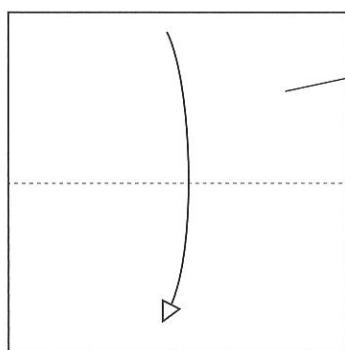
あかね 「完成した『オルガン』は〔写真〕の実物のオルガンによく似ていますね。」

先生 「三角形と四角形が組み合わされていて、図形の学習にもなりますね。」

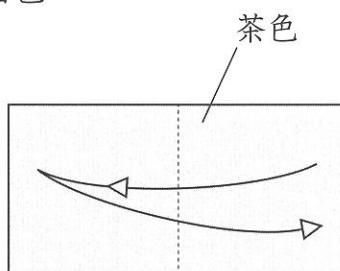
〔『オルガン』の折り方〕

折り紙は表面が茶色で、裏面は白色です。①では裏面が見えています。

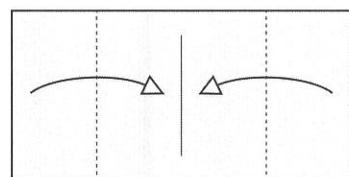
① 上下半分に折ります。



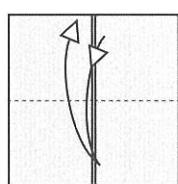
② 横半分に折ってもどし、折り筋をつけます。



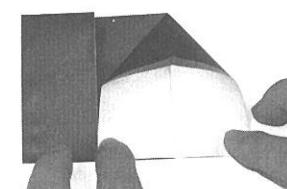
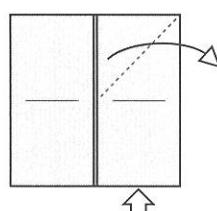
③ 左右のはしを中央の折り筋に合わせて折ります。



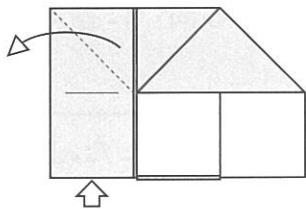
④ 上下半分に折ってもどし、折り筋をつけます。



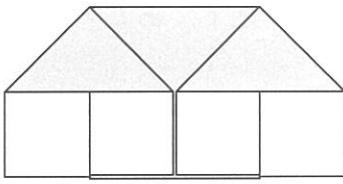
⑤ 下の矢印(↑)の方から上の紙の間に指を入れて開いてつぶします。



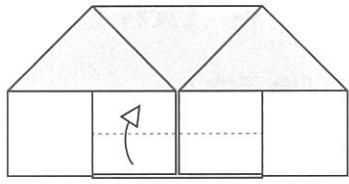
〔6〕左側も同じように指で開いてつぶします。



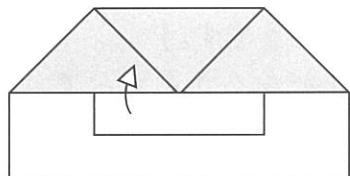
〔7〕『家』ができます。



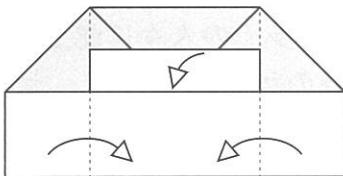
〔8〕点線で上に折ります。



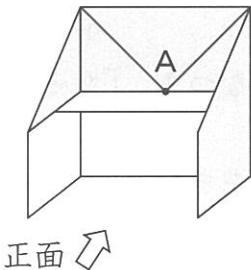
〔9〕もう一度上に折ります。  
これが「けんばん」です。



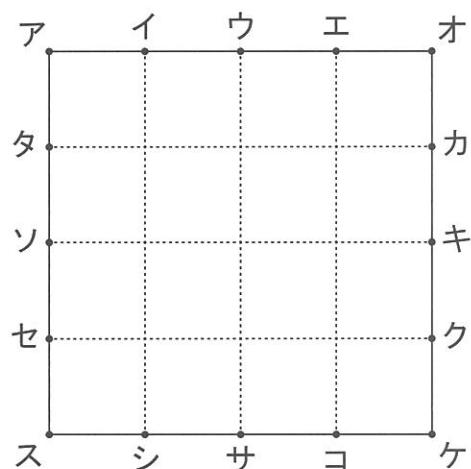
〔10〕点線で左右を内側に折りこみ、「けんばん」を手前にたおします。



〔11〕『オルガン』が完成します。



〔図〕



〔写真〕 実物のオルガン



(1) 〔図〕は、〔『オルガン』の折り方〕の〔4〕の折り紙を〔1〕の状態に広げ、各点をア～タの記号で示したものです。〔『オルガン』の折り方〕の〔11〕の点Aで示した位置には、〔図〕のア～タのうちの5つの点が重なります。5つの点はア～タのうちのどれか、あてはまる記号を書きましょう。

(2) 折り紙の大きさは1辺が10cmの正方形です。〔『オルガン』の折り方〕の〔11〕で『オルガン』の茶色の部分の面積は何cm<sup>2</sup>か、書きましょう。

ただし、面積には、『オルガン』の正面のほかに横と後ろの部分もふくみます。

**問3** はるおさん、あきなさん、なつきさんの3人は、総合的な学習の時間に神奈川県の花であるヤマユリについて調べたことを話し合っています。【会話文】を読み、【資料1】、【資料2】を見て、あとの（1）、（2）の各問いに答えましょう。

【会話文】

はるお	「ヤマユリは、日本特産のユリです。【写真】を見つけました。」
あきな	「『わたしたちの神奈川県』で調べたところ、ヤマユリは日本最初の県花として、 <sup>注)公募</sup> により1951年に制定されたと書いてありました。」
なつき	「なぜ、ヤマユリが県の花に選ばれたのでしょうか。」
はるお	「祖母の話によると、昔は神奈川県の野山にたくさんさいいて、美しいヤマユリの花は、多くの人々に愛されていたそうです。」
なつき	「なるほど。当時の神奈川県には、ヤマユリがたくさんあって、多くの人々に愛されていたから、県の花に選ばれたのですね。」
あきな	「ところで、ユリの球根はユリ根と呼ばれ、昔は日本から外国にたくさん輸出されていたそうです。1906年に日本から輸出したすべてのユリ根について、【資料1】は輸出港別に、【資料2】は輸出相手国別に、それまとめていますが、【資料2】は、まだまとめ終わっていません。【資料1】、【資料2】を見ると、ユリ根1個あたりの値段は、輸出港や輸出相手国によっても少しづがっていたことがわかります。」

注)公募：広く一般から募集すること。

【写真】ヤマユリ



【資料1】ユリ根の輸出港別の数量と輸出額（1906年）

輸出港	数量(個)	輸出額(円)
横浜	12062194	あ
神戸	66680	2178
大阪	1006	44

(JACAR (アジア歴史資料センター))

Ref. B06151090600 (第55画像目から),  
条約改正準備関税調査資料 第四卷 (2, 5, 1) (外務省外交史料館) より作成)

【資料2】ユリ根の輸出相手国別の数量と輸出額（1906年）

輸出相手国	数量(個)	輸出額	
		金額(円)	百分率(%)
ベルギー	174125	7396	1.50…
カナダ	146635	6762	
ドイツ	628025	29414	5.97…
イギリス	4510294	189410	38.45…
オランダ	243975	9825	1.99…
アメリカ	6206456	235850	
その他	220370	13927	2.82…
合計	12129880	492584	

※空欄は、数値がまだ記入されていないものとする。

※輸出相手国は、現在の国名にしている。

(JACAR (アジア歴史資料センター))

Ref. B06151090600 (第54画像目から), 条約改正準備関税調査資料 第四卷 (2, 5, 1) (外務省外交史料館) より作成)

(1) [資料1] の横浜港から輸出したユリ根の輸出額はいくらか、[資料1], [資料2]を見て、**あ**にあてはまる数を書きましょう。

(2) あきなさんが[資料2]の輸出額の百分率(%)を求め、はるおさん、なつきさんの2人が円グラフに表すことにしました。はるおさんが[グラフのかき方]の①に従って百分率(%)をかい数にして合計したところ、ちょうど100になりました。[グラフのかき方]を読み、[資料2]の輸出額の百分率(%)にあてはまる数を求め、[グラフの例]のように輸出相手国別の輸出額の割合について、円グラフをかきましょう。

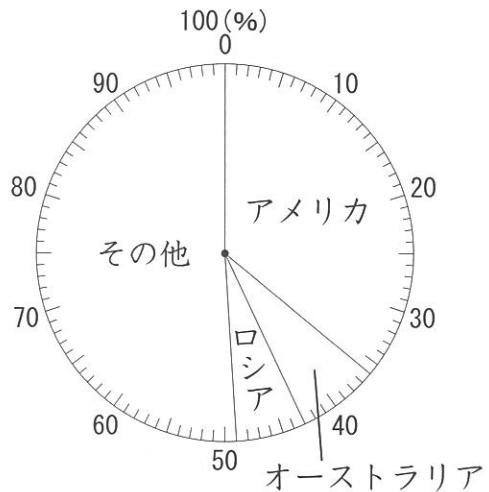
### [グラフのかき方]

- ① [資料2]の百分率(%)を四捨五入して、一の位までのがい数にします。
- ② 輸出額が多い順に3番目までの国がわかるように、0%から右まわりに百分率の大きい順に線を引いて区切り、国名を書きます。
- ③ 4番目以下の国は、「その他」にまとめて最後に表し、「その他」と書きます。
- ④ 何%を表しているかわかるように、目盛りにはっきり線を引きます。
- ⑤ 円グラフの中に国名などが書けない場合は、[グラフの例]の「オーストラリア」のように線を引き、円の外に国名などを書きます。

### [グラフの例]

自動車の輸出相手国別の輸出額の割合  
(2013年)

(合計10兆4125億円)



(財務省ウェブサイト貿易統計「日本の自動車輸出相手国上位10カ国の推移」より作成)

**問4** はるみさんとあきらさんは、はるみさんが親せきの方から送ってもらったかぶを見ながら話をしています。〔会話文〕を読んで、あとの(1)、(2)の各問いに答えましょう。

[会話文]

はるみ 「親せきのおじさんが畑で作ったかぶを送ってくれました。」

あきら 「おいしそうなかぶですね。そういえば『おおきなかぶ』というロシアの民話を知っていますか。」

はるみ 「はい。おじいさんが育てた大きなかぶをぬこうとしたら、なかなかぬけないので、おばあさんや孫などに順番に手伝ってもらってやっとぬけたというお話ですね。」

あきら 「その通りです。はじめはおじいさん1人でぬこうとしました。しかし、ぬけないので、おばあさんを呼んできて2人でぬこうとしましたが、ぬけませんでした。次に孫を呼んてきて3人でぬこうとしましたが、まだぬけません。そこで、次々と犬、ねこ、ねずみと加えて<sup>注)</sup>4人、5人、6人でぬこうとして、6人で引っ張ったときにやっとぬけましたというお話です。」

はるみ 「6人もかかってやっとぬけたなんて、きっととても大きなかぶだったのでしょうね。ところで、かぶのような形のものの体積はどのようにしたら調べられるでしょう。」

あきら 「容器に水をいっぱいに入れて、その中にかぶをしづめてみたらどうでしょうか。」

はるみ 「そうですね。完全にかぶが水の中にしづめば、あふれ出た水の体積がかぶの体積と同じになるので、かぶの体積がわかりますね。さっそく実験してみましょう。」

(著作権上の都合により省略)

(『おおきなかぶ』佐藤忠良 画)

<sup>注)</sup>4人、5人、6人：民話の中でのことなので、犬、ねこ、ねずみも人と同じように数え、「人」という単位を用いています。

(1) はるみさんとあきらさんは、送ってもらったかぶの体積を求めるために、次のような〔実験〕を行いました。〔実験〕を読み、このかぶの体積が何cm<sup>3</sup>になるか、書きましょう。

ただし、円周率は3.14とし、答えは小数第1位を四捨五入して、がい数で書きましょう。また、ペトリ皿（シャーレ）の厚さとかぶをしづめるために使ったガラス棒の体積や、容器についての水の体積は考えないものとします。

## [実験] かぶの体積を求めるための実験

かぶの体積を求めるために、かぶ全体が入る容器を、底面の直径が12cmの円柱状のペトリ皿の中に置きました。はじめに、容器に水をいっぱいに入れ、次に容器の中にかぶを入れ、完全にしづむようにガラス棒でおしました。水があふれ出たあと、かぶを入れたままの容器をペトリ皿から出し、ペトリ皿にたまつた水の高さをはかると、1.5cmでした。



(2) はるみさんとあきらさんは、『おおきなかぶ』という民話の中で、かぶをぬく作業に参加した6人で、ぬけたかぶを分けることを考えました。次の【かぶの分け方】、【かぶを引く強さとかぶをぬくために使った力の考え方】に従ってかぶを分けるとき、5回目からかぶをぬく作業に参加したねこがもらえるかぶは、かぶ全体のどのくらいになるか、分数で答えましょう。答えは、約分して最も簡単な分数で書きましょう。

ただし、引くときのかぶの状態は、6回目でぬけるまで毎回同じであるものとし、かぶをぬくために必要な力と、同じ登場人物がかぶを引く強さは、常に同じであるものとします。

### [かぶの分け方]

1回目から6回目までに、その登場人物がかぶをぬくために使った力の割合に応じて、かぶを分けることにします。

### [かぶを引く強さとかぶをぬくために使った力の考え方]

- おじいさんとおばあさんがかぶを引く強さは同じとします。
- 孫がかぶを引く強さは、おばあさんが引く強さの半分とします。
- 犬がかぶを引く強さは、孫が引く強さの半分とします。
- ねこがかぶを引く強さは、犬が引く強さの半分とします。
- ねずみがかぶを引く強さは、ねこが引く強さの半分とします。
- かぶをぬくために使った力とは、その登場人物がかぶを引く強さにその登場人物がかぶをぬく作業を行った回数をかけることにより、求めるものとします。

例) おじいさんがかぶを引く強さを1としたとき、6回かぶを引いたおじいさんがかぶをぬくために使った力は、 $1 \times 6 = 6$ となります。

※問題は、これで終わりです。

このページには、問題は印刷されていません。

このページには、問題は印刷されていません。

